

平成 28 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号	306 - 2	新規・継続	継続
事務事業名	市道整備事業	一般会計	8 款 2 項 3 目 30 細目	ハード
所 属	建設部 道路建設課 市道第1係 市道第2係 農林道係			総合計画施策体系 3 - 6

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	国・県道と一体的な交通ネットワークを充実させる幹線道路と、緊急自動車等の通行困難箇所の解消や生活の基盤となる生活道路の整備を行い、安全で利便性の高い道路網を形成する。								
対象 (誰・何を対象に)	市道を利用する市民及び車両交通								
事業の概要 及び H28活動計画	<p>1 事業概要</p> <p>(1) 幹線道路の整備 国道や主要地方道及び一般県道を補完する地域幹線道路を整備する。</p> <p>(2) 生活道路の整備 安心・安全な市民生活を営むために、地域の状況に応じた交通機能の改善と緊急車両(救急車・消防車等)の通行を確保するための道路を整備する。</p> <p>2 H28活動計画</p> <p>(1) 幹線道路の整備 ア 社会資本総合整備事業等 (社会資本整備総合交付金, 防災・安全社会資本整備交付金) 路線数 15路線(測量・設計のみ実施する路線を含む) 整備延長 L=約2,700m(工事予定延長)</p> <p>イ 防衛施設周辺民生安定施設整備事業 八本松大橋・小橋の耐震化 H28年度は大橋(歩道橋)、小橋の工事を実施予定</p> <p>(2) 生活道路の整備 路線数 37路線(測量・設計のみ実施する路線を含む) 整備延長 L=約2,400m(工事予定延長)</p> <p>3 事業費(1,613,299千円)</p> <p>(1) 幹線道路の整備(998,261千円) (2) 生活道路の整備(615,038千円)</p>								
活動・結果 指 標	【活動・結果指標名】	単位	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)				
	道路整備延長(幹線道路)	m	1,690	1,200	2,700				
	道路整備延長(生活道路)	m	3,425	3,300	2,400				
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	歩行者・車両の利便性・安全性を確保することを示す指標として幹線道路の各年度ごとの整備延長による整備率を設定する。 緊急車両の通行や離合困難箇所の解消を示す指標として生活道路の各年度ごとの整備延長による整備率を設定する。								
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	26年度 (実績値)	27年度 (目標値)	28年度 (目標値)	28年度 (実績値)	達成率	29年度 (目標値)	一年度 (目標値)
	幹線道路の整備率	%	99.4	100.0	100.0				
	生活道路の整備率	%	110.5	100.0	100.0				



(整備中の幹線道路)



(整備された生活道路)

3 コスト情報

		26年度(決算)	27年度(予算)	28年度(予算)	29年度(予算)
事業費	事業費合計(A)	1,626,063 千円	1,484,586 千円	1,613,299 千円	千円
	財源内訳				
	国県支出金	301,915 千円	315,600 千円	276,710 千円	千円
	地方債	755,100 千円	444,500 千円	639,500 千円	千円
	その他	千円	50 千円	1,616 千円	千円
	一般財源	569,048 千円	724,436 千円	695,473 千円	千円

平成 28 年度 事務事業シート (計画)

1 事務事業に関する基本情報

	事務事業番号	306 - 4	新規・継続	継続
事務事業名	街路整備事業	一般会計	8 款 5 項 2 目 57 細目	ハード
所 属	都市部 都市整備課 街路係		総合計画施策体系	3 - 6

2 事務事業の概要・活動計画・指標

目的 (何のために)	都市の骨格となる道路ネットワークの形成に向けて、都市計画道路の整備促進を図る。						
対象 (誰・何を対象に)	都市計画道路(西条中央巡回線、吉行泉線、丸山檜原線、寺家中央線)						
事業の概要 及び H28活動計画	<p>1 西条中央巡回線の整備(476,487千円) 本路線は、県道吉川西条線((都)上寺家下見線)、ブルーバール、国道375号などの主要な幹線道路とのネットワークを形成し、中心市街地の交通混雑を緩和する環状線としての役割を担う重要な路線である。 (1) 助実・円城寺工区 (全体L=1,140m W=17.0m、※既完成供用L=470m) 道路改良工事、道路舗装工事、※平成28年度末全線完成・供用予定 (2) 寺家工区 (全体L=590m W=17.0m) 用地取得、物件移転補償、付帯工事</p> <p>2 吉行泉線の整備(359,004千円) 本路線は、県道飯田吉行線((都)吉行飯田線)と西条中央巡回線を結び、JR山陽本線で分断された南北の交通ネットワークを形成するとともに、史跡安芸国分寺や酒蔵地区を回遊する中心市街地における重要な路線である。 2工区 (山陽本線南側、全体L=460m W=14.0m) 道路改良工事、用地取得、物件移転補償</p> <p>3 丸山檜原線の整備(174,977千円) 本路線は、国道375号と乃美尾兼広線を結び、市街地が進展する黒瀬町中心部の安全な交通環境を形成するための骨格となる重要な路線である。 丸山檜原線 (全体L=800m W=16.0m) 用地取得、物件移転補償</p> <p>【新】4 寺家中央線の整備(42,000千円) 本路線は、西条中央巡回線と連結し、西条中心市街地の交通混雑を緩和し、寺家新駅周辺地区への交通アクセス機能の強化を図るとともに、西条第二地区まちづくりの骨格となる重要な路線である。 寺家中央線 (全体L=1,440m W=17.0m) 測量設計、橋梁予備設計</p>						
活動・結果 指標	【活動・結果指標名】	単位	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)		
	西条中央巡回線(助実・円城寺工区)供用延長	km	0.47	0.47	1.14		
成果目標 (指標設定理由、 計算式、 数値上では現れ にくい成果)	街路整備事業は、路線の完成・供用によって事業効果が得られるため、工事を施工する西条中央巡回線(助実・円城寺工区)及び吉行泉線(2工区)の事業進捗率を指標とする。						
成果指標 (目標達成状況等)	【成果指標名】	単位	26年度 (実績値)	27年度 (目標値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)
	西条中央巡回線(助実・円城寺工区)事業進捗率	%	90.0	94.6	100.0		
	吉行泉線(2工区)事業進捗率	%	1.0	13.1	40.9		100.0

3 コスト情報

		26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (予算)
事業費	事業費合計 (A)	445,755 千円	622,683 千円	1,052,468 千円	千円
	財源内訳	112,035 千円	291,500 千円	517,000 千円	千円
	国県支出金	270,700 千円	214,600 千円	380,600 千円	千円
	地方債	千円	千円	14,000 千円	千円
	その他	63,020 千円	116,583 千円	140,868 千円	千円